

令和5年度事業報告書

I. 事業の状況

1. 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰（1号事業／28,227千円）

- (1) 放送文化に関する創作活動を行う個人または団体に対する顕彰については、以下の9件の個人・団体（番組）に対して「第32回橋田賞」として顕彰することとし、正賞として時計、副賞として賞金各1,000千円の助成を実施した。

橋田賞	「ブラッシュアップライフ」	(NTV)
橋田賞	「ひとりぼっち一人と人をつなぐ愛の物語ー」	(TBS)
橋田賞	連続テレビ小説「らんまん」	(NHK)
橋田賞	相葉 雅紀	(俳優・歌手・タレント／あいば まさき)
橋田賞	神木 隆之介	(俳優／かみき りゅうのすけ)
橋田賞	北川 景子	(俳優／きたがわ けいこ)
橋田賞	バカリズム	(お笑い芸人・脚本家／ばかりずむ)
橋田賞	大下 容子	(テレビ朝日アナウンサー／おおした ようこ)
橋田賞新人賞	浜辺 美波	(俳優／はまべ みなみ)
橋田賞新人賞	趣里	(俳優／しゅり)
橋田賞特別賞	井上 順	(タレント・歌手・俳優／いのうえ じゅん)
野村昭子賞	大方斐紗子	(俳優／おおかた ひさこ)

2. 脚本家、演出家、俳優等の人材育成（2号事業／6,943千円）

脚本家、演出家、俳優等の人材育成については、本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 令和5年度橋田賞新人脚本賞の公募（長編、短編）

今年度より短編部門を新設し、短編の募集と優秀作の絵映像化を開始した。

短編は応募総数703篇で、シナリオ・センターの一次審査の後、財団選考委員による審査の結果、該当作なしであった。

長編は応募総数364篇で、同じくシナリオセンターの一次審査の後、財団選考委員による審査を行った。結果は入選なし、佳作3篇となった。

正賞として時計、副賞として賞金200千円の助成を行った。

佳作	「嘘つきリーさん」	安達あづさ
	「あなたに花が咲くように」	平木健典（けんすけ）
	「ニンベンに憂う」	三谷武史

3. 財団セミナーの開催（3号事業／18,404千円）

放送文化に関するシンポジウム、講演会の開催については、本年度は以下のような事業を実施した

(1) 「石井ふく子プロデューサーがゲストと語るテレビドラマ今昔物語 うらばなし」

石井ふく子プロデューサーがゲストを迎え、昭和のホームドラマについて考えるセミナー。ゲストに

香川京子、水前寺清子、大空真弓、石坂浩二、小林綾子、野村真美、一路真輝、えなりかずき、三田佳子、井上順、佐久間良子（11名）

を迎えた。財団ホームページで公開中（一年間限定）

(2) 「オンラインセミナー」の開催

「大河ドラマの成功と脚本家・橋田壽賀子を語る

ゲスト元NHKプロデューサー渋谷康生」

「脚本家・生方美久との出会いとドラマの成功を語る

フジテレビプロデューサー 村瀬 健」

(3) 山根基世のひとり読み「渡る世間は鬼ばかり」

「渡る世間は鬼ばかり」第一シリーズを山根基世アナウンサーがひとりで読む。（#5～#12）

4. 顕彰対象作品の上映会の開催（4号事業／0円）

顕彰対象作品の上映会の開催については、著作権関連のクリアが年々難しさを増していることを鑑み、本年度も開催を見送った。